

教育委員会だより - 学(まなぶ) - 6月号

教育委員 伊藤 沙織

皆さんは「知立市民歩け歩け運動」に参加したことがありますか？ 毎年5月、知立中学校から出発し、松並木や明治用水沿いを通して知立文化広場まで歩くイベントです。今年で52回目となった今回は、天候にも恵まれたたくさんの市民の方が参加されました。

私も4年前から、小学生の娘と一緒に毎年参加しています。今年は娘がお友達を誘ったので、いつもより賑やかな道中となりました。町内会での参加をされているところも多く、ゴールで写真を撮られたりとても楽しそうでした。その中の、町内会の役職についている方とお話しをしました。

「町内の方、たくさん参加されていいですね」と言ったら、
「ただ、今年は子どもの参加がゼロだったんです」と言われました。
確かに年々子どもの人数は減っているように思います。
子供会も無くなり、他のイベントなどでも子どもの参加はあまりない
とのことでした。

今の子どもたちは習い事などでとても忙しいです。空いている時間があっても、
体を動かすより、動画やゲームなどのほうが楽しいという子もいるでしょう。
また、その子どもたちに付き添う親も、なかなか時間をとることができない
ということもあるかもしれません。



一緒に参加した友人とも、ただ歩くだけではなくて、子どもたちが参加したいと思えるようなものがあるといいよねという話になりました。たとえば、ちりゅっぴのコスプレをしたり、ちりゅっぴのグッズを持って歩く。せっかく知立市の名所を通るのだから地域にちなんだクイズラリーや謎解きをしながら歩く、などです。歩くルートも、たまには違うものにしたら、もっといろいろな地域を知ることができてよいのではないのでしょうか。歩け歩け運動はどんな年齢の人でも気軽に参加できるイベントなので、子どもの参加が少ないのはさみしいと感じました。

また、愛知県の小学生、中学生は近年全国体力テストにおいて男女共に全国平均を下回る状況が続いています。中でも、2024年度調査における小学生男子は全国最下位となっています。総運動時間も少ないとのことで、運動能力や体力の低下が懸念されます。学校現場においても、マラソン大会がなくなる学校が増え、夏場は熱中症対策のため外遊び、スポーツが禁止となる状況にあります。自分から体を動かそう！と思わなければ、全くしない状態になってしまっているのです。

歩け歩け運動は年に1回、1日だけのイベントにはなりますが、「歩くのって楽しい！」「自分が思ったより、長い距離を歩くことができた」という思いが生まれれば、その次に繋がっていくのではないのでしょうか。ちなみに娘が小学1年生で参加したときに、帰りも無量寿寺から別ルートを歩いて家まで帰りました。往復10kmくらい歩いた計算になりますが、休み休みなら低学年でもこんなに歩けるんだ！とびっくりした思い出があります。子どもの意外な能力を知ることができて参加してよかったと思いました。

ゴールの知立文化広場から近いところに無量寿寺があり、
かきつばたまつりを開催していました。
見事に咲き誇ったかきつばたを見られるのはもちろん、
屋台などが出店しており、子どもたちは普段来たことがない
町のお祭りを楽しんだようでした。今回は、三河八橋駅から
電車で知立駅まで行き、子どもたちの提案で知立神社にも
寄ってみました。歩数計を見たら 15000 歩達成。
久しぶりにいい運動ができました。
皆さんもぜひ来年参加してみてはいかがでしょうか。

